

# 需要地系統ハイブリッド実験設備

## 【設置目的】

分散型電源の配電系統への大量連系時の、配電系統運用・保護等における問題点や現状対策技術の検証、ならびに分散型電源の安定的連系量の一層の増大を目的として当所が提案している「需要地系統」基本技術を確立する。

## 【主な仕様】

- (1) 我が国で最大の実規模配電実験設備
- (2) 我が国の種々の配電形態に対応できるように、6.6kV、および22kVの放射状、ループ状など種々の系統構成が可能
- (3) コージェネ用同期発電機、太陽光発電、燃料電池発電、蓄電装置、誘導発電機（風力発電対応）、マイクロガスタービンの実機または模擬装置を設置
- (4) 上記分散型電源を計4箇所に分散配置し、総容量は950kWで、受電変圧器の約50%
- (5) 上位系統や近接配電系統模擬リアルタイムシミュレータ、ならびに同シミュレータと上記験設備を等価結合する変換装置（BTB）を併置しており、より広い範囲での系統現象が実験可能

## 【設置場所・時期】

赤城験センター、平成15年4月



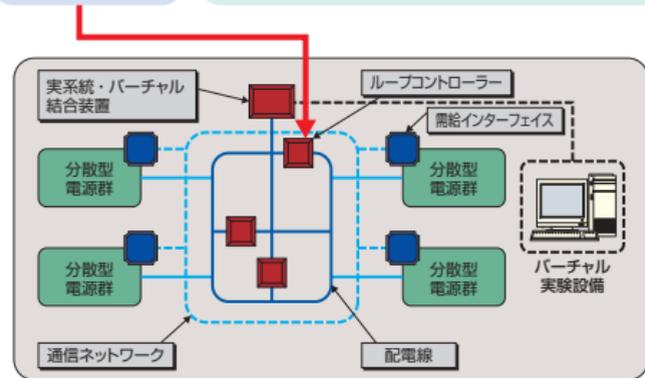
ループコントローラー  
(プロトタイプ)



コージェネ模擬用同期発電機



風力模擬用誘導発電機



■需要地系統ハイブリッド実証試験設備（赤城験センター）